

運輸区 とらぶら 第五十号

またまた 中途半端なぶれぶれ 対応

京葉線、9月のダイヤ変更！

5月30日（金）、突然千葉支社より、一部利用者、千葉市長、県知事より苦情があった「京葉線内の快速廃止」に関して、現行より増発させるダイヤ変更を9月に行なう旨の発表を行ないました。つい先日も社

長自らの「みどりの窓口廃止の一時凍結」という発表があったばかりで、もういい加減この手のトホホな記事を書くのも、うんざりしてはいますが・・・

いち企業として、こうしたぶれぶれ対応は非常に恥ずべき

きよん

利根川を渡る？！

もう既に4月の話題で恐縮ではありますが、メディアの報道で茨城県内で4件のきよんの見撃情報があったとのことでした。

ご存知の通り、きよんは勝浦市内の施設で飼育されていたものが野生化し、大繁殖して地域住民を困らせているようですが、何といきなり茨城までの移動には驚きました。県内目撃の北限もないまま、何故そんな長い距離を移動したのか、泳ぐ習性はないようなので、何処かの橋をちゃんと？歩いたんだろうな・・・とか、色々考えるとワクワクしちゃいますね！！

・・・不謹慎ですみません。

ものだと思います。内容は割愛しますが、今回も通勤快速の復活はせずに、快速を現行より7本増やしただけ（平日）という中途半端極まりないものであり、解決にも何もなってません。千葉市長の返答も「100点満点中の今回は60点」で、馬鹿にしてるとしか思えません。と言うか、この会社がいい笑いものになってるような気がします。反面、ダイ改以降、乗車機会が増えた各駅停車のみの利用者は再び機会を減らされるということで、怒るのは当然です。全ての利用者が平等に乗車出来ることを考えれば、京葉線に快速など必要ありません。但し、内房外房直通的通勤快速は復活させるべきだと思います。皆さんも乗務員とし

てもっとも
っと声を出
していくべ
きです。



うたてつ ノスメ 39

夜行列車（ザ・リリース）1969年7月

あなたが住んでいる 北の街へ
夜汽車は向かうよひとりの僕を乗せて
汽笛が闇に泣いている
夜空を飛ぶ星よ
あなたの心が めざした僕の駅さ

本当の愛など 知らないまま
あなたと別れて ひとりで旅に出たよ
おろかな僕を許してよ
帰っていく僕を
あなたの心が 最後の僕の駅さ

おろかな僕を許してよ
帰っていく僕を
あなたの心が 最後の僕の駅さ

リリースと言っても、テニス部のキャプテンを好きになった双子の姉妹ではない。グループサウンズ（以下、GS）の老舗？シャープファイブを脱退した元メンバーが、北海道に渡りメンバーを集めて結成したバンド。時代は既にGS末期で、新しい音楽の波が世界的に広がる中、メンバー全員がリードボーカル志望だったことから、ソフトロック的なコース、ハーモニー重視の音楽をめざした。

何と、こんな良い曲がB面！！
作詞は山上路夫、作曲は村井邦彦、編曲は川口真、当時乗りまくっていた3人。今回も非常にレアな曲

ではあるが、絶対の自信を持ってお勧め出来るので、何とか探して聞いてほしい。4曲あるGS鉄道ソングの3曲目。果たして最後までたどり着けるのか？？
曲中の二人は、何らかの事情で一度別れている。それも「僕」の方の事情で。旅を続ける内に気づいた。「やっぱり僕にはあなたしかいないんだ」・・・ということ。浅はかだった自分の若さで「あなた」を傷つけてしまったことを反省し「もう迷わない」決心で「あなた」のもとへと向かう。許してもらえるのかどうかも分からないが・・・。「あなたの心が最後の僕の駅さ」う～ん、最高のフレーズだ！！ロシア民謡風？の曲調と純朴そうな声のボーカルと、もの悲しいアレンジ！全てが上手く噛みあった名曲中の名曲！